

住みよい木津川市・相楽郡を
みなさまとともに！

よしかず

京都府議会議員 一祥 やすふで 府政報告

筆やん通信

第7号 (2025年秋冬号)



秋らしい陽気もそこそこに、冬の足音も近づいてまいりました。皆様、いかがお過ごしでしょうか。今号は9月定例会の決算特別委員会での質疑を中心にお伝えします。別名「決算議会」と呼ばれている、9月議会。令和6年度決算の執行状況を中心に、現在問題となっているクマなどの害獣対策や従前から質問を重ねてきた「ふるさと納税」、「建設業の人手不足の問題」など多岐にわたって質問させていただきました。紙面の都合上、大きな質問しか掲載しておりませんが、予算の執行があまりにも少ない（役所内では「予決乖離（よけつかいり）」と申します。）事業についての確認もさせていただきました。議会が承認した予算について執行が少ないということは、行政として事業をどのように行ったのか、工夫を重ねて事業を行ったのか、実情に合わなかった予算なのかを確認することで、現在、編成作業が行われている令和8年度予算にも反映できます。予算編成事務の経験者として、しっかりと審議できたと自負しております。

今後も引き続き、地元木津川市・相楽郡の行政課題や、京都府の行政運営の更なる効率化・適正化に向け順次提案を行っていき、諸課題解決に向け邁進してまいりますので、今後とも何卒、ご指導ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

京都府議会議員 筆保 祥一 筆



登壇の様子

9月定例会の閉会日である10月31日には、令和6年度京都府一般会計及び特別会計歳入歳出決算、その他5事業の決算認定に係る全ての議案について賛成の立場で討論をさせていただきました。

内容は、難しい財政運営の状況ではあるが、令和6年度は「あたたかい京都づくりの加速化予算」と位置づけ、府民に寄り添ったきめ細やかな施策を講じられてきたことに高く評価するものではある。しかし、法人税や地方消費税では増収となっているものの、好調な業績を受けた企業の存在と物価高等の影響があったものであり、持続的にその効果は期待できるものではなく、非常に厳しい財政状況が続くことが予想される。そのためには、強固な行財政基盤の構築を行い、総合計画に盛り込まれた施策を着実に実行していただくよう、要望しました。

討論の様子はこちらの二次元コードからご覧いただけます！
(35分6秒から42分45秒)



所属会派

国民民主党・日本維新の会
京都府議会議員団

府議会の議員定数は60名、
当会派は11名となり、
第2会派となっています。



京都府庁旧本館

所属委員会

○総務・警察常任委員会

府の財政運営、府有資産の利活用、市町村振興、地域安全対策、交通安全対策などについて審査・調査します。



議会本会議場の様子

○子育て環境の充実にに関する特別委員会（副委員長）

出会い・結婚・妊娠・出産、保育・教育および就労に至るまでの子育て環境の充実のための施策（貧困対策、ひとり親家庭対策、ひきこもり対策、児童虐待対策およびいじめ対策を含む）について調査・研究します。

○令和7年9月設置決算特別委員会

○議会運営委員会

○議会改革検討小委員会

民間企業、国・地方行政の
主要部署を歴任。
国土計画、防災・減災対策をはじめ
福祉行政全般・医療・
環境・交通行政、財務関係に精通。



やすふで 一祥 プロフィール

- 1972年 岡山県津山市生まれ。岡山県立津山東高等学校、日本大学理工学部交通土木工学科卒業。
- 1995年 大手ゼネコンに入社。阪神・淡路大震災復興事業に従事する。
- 1999年 建設省・国土交通省にて河川砂防技術者として、主に琵琶湖・淀川水系の河川整備計画、土石流対策技術指針作成ならびにダム計画に従事する。
- 2004年 神戸市役所に行政職として入庁。保健福祉・環境・交通行政の財務関係に従事。
- 2015年 衆議院議員公設第一秘書として、京都府第6選挙区にて従事。
- 2023年 京都府議会議員選挙に木津川市・相楽郡選挙区より立候補し、初当選。任期1年目は政策環境建設常任委員会、文化力と価値創造に関する特別委員会、予算特別委員会に所属。
- 2024年 任期2年目は危機管理・健康福祉常任委員会、魅力ある地域づくりに関する特別委員会、決算特別委員会、議会運営委員会に所属。

「誰の為の政治なのか」を常に心の根底に据え、

今までの経験から培われたノウハウと持ち前の行動力をフル稼働させ、議員活動に邁進してまいります！！